

第 3 回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

1 第 3 期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」（素案）について

No.	主 な ご 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・ 前回消滅可能性自治体として挙げられた石岡市、筑西市、笠間市等は今回脱却している。これらの自治体が推進した取組を参考にすべきではないか。	・ 本市は消滅可能性都市としては挙げられていませんが、東京都等は新たにブラックホール型自治体と定義されています。 ・ 本市も社会動態は高くなっていますが、自然動態がかなり低いという傾向から、ブラックホール型自治体に近いのではないかと考えています。 対応 ・ ご意見を踏まえ、石岡市の取組を参考に、第 3 期総合戦略（素案）（P20）の戦略分野Ⅱの「基本施策③「選ばれるまち」としての魅力の創造と定住のきっかけづくり」の中に、「奨学金返還支援制度導入の促進など、定住促進のための新たな方策の検討」を位置付けました。
2	・ 14 ページの年齢（5 歳階級）別社会移動（純移動数）の 2015 年から 2020 年は、コロナ禍であったことから、この結果のみで人口が回復したとは言えないのではないかと印象を持っている。 ・ 2024 年の状況や他自治体の動向についても慎重に見ていく必要がある。	・ 2020 年に人口が増えた要因は、土浦駅周辺でのマンション 3 棟の建設、おおつ野地区への土浦協同病院移転に伴う医療系の方の転入、コロナ禍による在宅ワークや大学のオンライン事業の影響などがあると考えています。 ・ 常住人口調査の年齢別人口は、令和 4・5 年は 20 代～30 代が若干増加している状況です。今後の推移を見ながら施策を検討していきたいと考えています。
3	・ 人口ビジョンの将来展望の結論は分かり易くまとめているため、人口ビジョンの過程についても概要を整理してほしい。	対応 ・ ご意見を踏まえ、人口ビジョン（案）・総合戦略（素案）の概要版を作成し、参考資料 1 として提示しています。

2 第3期土浦市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」について

No.	主 な ご 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・ 1 ページにおいて、人口ビジョンの基本方針と総合戦略の戦略分野との紐づけがされている。基本方針1の出生率の向上にむけ、戦略分野Ⅲ（結婚・出産・子育て）とⅣ（魅力ある地域の創造）を主に取り組むような内容となっている。 ・ しかし、出生率の向上においては、戦略分野Ⅰの雇用機会の創出・企業誘致や戦略分野Ⅱの住環境や教育環境についても、子育て層がまちを選択する際の視点になると考える。全ての戦略分野と紐づけてはどうか。	・ 出生率の向上については、経済的・教育的な要因が大きく影響すると分析しているため、紐づけについて再検討した上で、総合戦略を策定していきたいと考えています。
2	・ 本市の特徴の一つは、高校が多いことではないか。高校生にアンケートも行っていることを踏まえ、より強調しても良いのではないか。若者の意見を政策に取り入れると、安心して子育てできるまちにつながるのではないか。 ・ 秋田県にかほ市では、大学生インターンからの意見をまちづくりに取り入れている。参考にオリジナルの取組を行ってはどうか。	・ 本市内には高校が 10 校あり、10 年前にシティプロモーション戦略プランを策定した際には、「学びのまち つちうら」を掲げています。 ・ 高校生とのコミュニケーションとしては、学際つちうらのほかにも、ウララビル内において高校生が主体となって、子ども食堂に取り組んでいます。 対応 ・ ご意見を踏まえ、第3期総合戦略（素案）（P26）の戦略分野Ⅲの「基本施策④」において、新たに「子ども・若者主体のまちづくり」を位置付けました。
4	・ 安心して住めるところでないと住みたくはないし、子育てもしにくい。 ・ 災害や犯罪に強いまちを目指す視点を入れると非常にインパクトが強いメッセージになると考えている。	・ 災害の激甚化についても懸念されるところであり、総合戦略の中でどのように入れることができるか検討していきたいと考えています。
5	・ 自然増を増やすことは難しく、日本全体の社会変化が関わってくると考える。TXの延伸など将来の起爆剤ともなる強みを活かし、社会増も見込めるのではないか。	・ TXは昨年6月に土浦延伸が決定しており、総合戦略の施策や人口ビジョンの目標人口としても加味し、有識者会議で提示したいと考えています。

第3回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

6	・ T Xの土浦延伸に関して、私も昨年活動していたが、T Xが土浦市に来ることがどのような好影響を与えるのかを市民が理解できていないと感じる。 ・ T Xの土浦延伸のメリット等を含めて市民にP Rしていくべきあり、総合戦略にも示すべきではないか。	・ 本市の発展はもとより茨城県全体の発展に寄与するため、まずは本市までの延伸を実現させて、その後は茨城空港までの延伸を目指していきたいと考えています。 ・ 土浦に決まった大きな要因は、距離が短いことや経済効果、リダンダンシー効果（交通ネットワークの多重化による災害発生時等の移動確保）にあります。 対応 ・ ご意見を踏まえ、現在ホームページに掲載しているT X土浦延伸に関する内容を精査・修正した上で、市公式ホームページのトップページに掲載しました。 ・ 第3期総合戦略（素案）（P30）の戦略分野Ⅳに新たに「基本施策③ T Xの土浦延伸を見据えた機運醸成と調査検討の推進」を位置付けており、その中で「延伸の意義や効果、市民生活への影響等について、市民に対し丁寧に説明を行うこと」に言及しました。
---	--	--